

コミュかるショップで、 なみすけフェア開催!!



4月1日(水)
～10日(金)

なみすけグッズの新商品 (3/4スリーブTシャツ、トートバッグほか) や、なみすけどら焼きなど期間限定の商品を集めました。

杉並区役所1階にあるコミュかるショップは、「区内で一番“すぎなみ”が集まる場所」のコンセプトのもと、区のキャラクター“なみすけ”のグッズや交流自治体の商品、杉並区の関連商品を販売しています。また区内の商店街や交流自治体などと連携してフェアを企画・実施しています。

「コミュかるショップは6人のスタッフが交代で運営しています。ここで働く楽しさは、交流自治体の商品を通して、お客様とお話できることですかねえ。お客様がおしゃべりをしたくなるような、気持ちのよいお店づくりを目指しています。ぜひ、お気軽に、お立ち寄りください。」(担当・五十嵐さん)



4月1日は北海道名寄市で
大人気のソフト大福も販売します。
4月以降も偶数月の初日に販売いたします。



《今後の予定》
5月 小千谷フェア
7月 阿佐谷フェア
10月 なみすけフェア
10月 ジャズストリート交流フェア
12月 なよるお餅フェア

コミュかるショップ

場所：杉並区役所1階ロビー
営業時間：9:00～16:30 (月～金)
※祝日、年末年始を除く
問合せ：杉並区交流協会 Tel: 03-5378-8833

Event Information from SACE 交流イベント情報

◆国内交流自治体関連のイベント◆

- 吾妻の朝市
群馬県東吾妻町の新鮮な農産物の販売
◇日 時：4月23日(木)、5月28日(木)、6月25日(木) 10:00～13:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前
- 北塩原村観光物産展
福島県北塩原村の高原野菜や山塩、花豆などの特産品販売
◇日 時：5月26日(火)～27日(水) 10:00～14:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前

- 忍野村観光展
山梨県忍野村から見える富士山「忍野富士」の写真展
◇日 時：5月25日(月)～29日(金) 8:30～17:00
◇場 所：区役所2階区民ギャラリー
- 名寄市アスパラまつり・写真展
北海道名寄産のグリーンアスパラの販売、風景写真の展示
◇日 時：6月3日(水)～5日(金) 10:00～14:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前・区役所1階ロビー
- 南伊豆町観光物産展
静岡県南伊豆町の干物や海藻など特産品販売

◇日 時：6月22日(月) 10:00～14:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前・1階コミュかるショップ前
※いずれも雨天実施。物産販売は売切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。

問合せ：区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111 (代表)

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。



交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

- 年度会費
・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
・法人会員 20,000円/年
- 会員期間
入会の月から3月31日まで(当年度末)

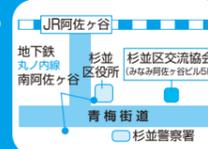
- 会員特典
① イベントの情報や交流に関する情報紙 [交流ニュース (年4回発行)・NEWS LETTER (年8回発行) など] をお届けします。
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
③ イベント参加費に会員割引があります。

- 申込方法
入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

すぎなみ交流ニュース

第36号
2015年4月

Suginami Cultural Exchange News
수기나미 교류 소식
杉並的交流消息



会員になりませんか?
～詳細は裏表紙～



◆発行:杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org
http://www.suginami-kouryu.org/

○年4回発行○協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。

2015年度 杉並区交流協会の活動方針と事業予定

杉並区交流協会は、多文化共生社会において、人と人との“つながり”、地域と地域の“交流”を育むことを通じて、安心して活力ある杉並区の創造を目指します。この理念のもと、3つの柱 <①在住外国人への支援 ②国内外の自治体交流の推進 ③多文化共生社会の相互理解の向上> に沿って下記の事業を展開します。

2015年度の主な事業予定	
5月16日(土)	ウェルカムパーティー (外国人と日本人が共に生活していくために必要なことを学び交流するイベント)
7月10日(金) ～13日(月)	夏の北海道名寄・音楽と交流の旅(交流自治体訪問ツアー)
9月13日(日)	まるごと台湾フェア [映画「KANO」上映予定] (中学生の野球交流を実施している台湾を紹介するイベント)
11月7・8日 (土・日)	すぎなみフェスタ出展 (ステージや出店を中心とした杉並区のおまつり)
12月5日(土)	海外文化セミナー ～フィンランド編～ (外国の文化を紹介するイベント)
1月23日(土)	外国人のための無料専門家相談会
3月5日(土)	日本語スピーチ大会

<その他> 外国語入門講座、語学ボランティアスキルアップ研修、外国人とのコミュニケーション講座などを実施予定(時期未定)

また、在住外国人への支援活動として年間を通して「外国人サポートデスク」(下記参照)や「日本語教室」を開設しています。(在住外国人への支援活動については別記の「在住外国人の実情と交流協会の支援活動」も参照)

外国人サポートデスク開設日・対応言語
毎週月・金 9:00～12:00、13:00～16:00 (祝日、年末年始を除く)
英語…毎週月曜日 13:00～16:00、毎週金曜日 9:00～12:00
中国語…毎週月曜日 9:00～12:00 第1・3・5金曜日 13:00～16:00
韓国語…第2・4金曜日 13:00～16:00
(区役所1階区政相談窓口にて)



Welcome Party 2015

ウェルカムパーティー 2015

参加者募集!

区内で生活する外国人と日本人の交流を深める毎年恒例のイベントです。

当日は、消火訓練やAED体験を行ったり、交通安全の指導を受けられます。そして日頃心がけたい、非常持出グッズのことやごみの分別ルールを知ることができます。参加者みんなでレクリエーションを楽しんだり、昼食に防災米(アルファ米)のおにぎりを作ったりして楽しい一日を過ごしましょう!

日 時：5月16日(土) 10:30～15:00 (雨天実施)
会 場：区立杉並第一小学校(杉並区阿佐谷北1-5-27) JR 総武線 阿佐ヶ谷駅徒歩2分
内 容：防災訓練(消火訓練など)、交通安全指導、分別ゴミの出し方、アルファ米でのおにぎり作り、レクリエーションなど
定 員：外国人50名、日本人50名(先着順)
参加費：200円(保険料、防災ふりかけ付き)
申込方法：杉並区交流協会まで、電話・ハガキ・Fax または Eメールで行事名と①氏名(ふりがな)②国籍③年齢④住所⑤電話番号 お持ちの方は Fax 番号を書いて、お申し込みください。
主 催：杉並区交流協会





第12回 日本語スピーチ大会

2015年3月7日(土) [於]座・高円寺 主催 杉並区交流協会 共催 杉並区・東京杉並ロータリークラブ

JAPANESE SPEECH CONTEST

日本に来ている外国の方が母国との違い、日本の生活で感じたことを発表する日本語スピーチ大会が、座・高円寺で開催されました。当日は高校生から40代、日本在住2カ月の方など、8カ国11名の方が5分程度でスピーチされました。一生懸命な発表姿勢、ユニークなテーマ設定、スピーチ内容への共感、綺麗な民族衣装等に観客は飽きることなく聞き入っていました。

その後、杉並のコンテストらしく、杉並区の姉妹都市オーストラリア・ウィロビー市に留学した杉並の中学生2名、阿佐ヶ谷のエベレスト・インターナショナル・スクールのネパール出身の小学生2名、韓国ソウル特別市瑞草区から杉並区へ研修に来ている職員の方のスピーチも行われました。審査委員5名での審査の間には、杉並区在住「匹田大智さん」の津軽三味線の演奏が行われました。

その後、表彰式に入り、4名の受賞者の発表、表彰状・賞品の授与、受賞者のスピーチ、審査委員のコメントがあり大会は終わりました。

大会終了後には、スピーチ参加者同士の歓談やアドレス交換の姿が見られ、また観覧者の方から「日本語を一生懸命に話す姿に感動した」「文化の違いを超えて尊重し合える社会を作れたらと思った」の言葉も聞かれ、司会者の「寒い1日でしたが暖かい気持ちで帰れます」の言葉を多くの方が共感できた大会でした。(広報部 K)



第12回
日本語スピーチ大会
主催 杉並区交流協会
共催 東京杉並ロータリークラブ 杉並区



→友好都市ソッチョ区の紹介や杉並での体験、両国の制度の違いなどをスピーチしてくれたバク・スヨンさん



エベレスト・インターナショナル・スクールで学ぶ小学4年生2名、日本とネパールのお祭りや学校の話日本語でスピーチしてくれました。



ウィロビー市での体験を流暢な英語でスピーチしてくれた区内の中学生2名



最優秀賞

ジョティ ヌールさん(バングラデシュ)「私の5年半とこれから」

私は小6の時に日本に来ました。今は17歳です。日本語を覚えるためにテレビを見る、人が多い所や図書館で本を読んでくれる日に行ったりと、とにかくひたすら聞きました。学校生活で一番感じたことは先生に対する態度です。私の国では学校に行けることはとても貴重です。私の中では先生は生きる道、社会のルール、大人への一歩を手助けしてくれるとても大切な存在です。日本ではそういう気持ちがありませんでした。でも勉強が分からないときはみんなで一緒に教えてくれたりと申し訳ないくらいに優しい時もあります。相手のことや周りのことを考え、発言したり行動するからこそ日本は素晴らしい国になったと思います。私は日本の高校に進学するために試験を受けます。日本で自立して生きてゆくためにこれからも大変だと思いますが、頑張ろうと思います。



優秀賞

サフォノワ ヴィクトリアさん(ロシア)「私の目を覚まさせたこと」

私が初めて日本に来たのは2年前の秋でした。その時に出会った学生のおかげで、自分の人生の標語になるくらい大切なことをいくつか認識できました。その一つは「自分を信じて、最後まで望ましい結果が出るまで勤勉に頑張らないといけない」ということでした。私に一番強い印象を残してくれたのは、どんな天気でもグラウンドで練習し続ける学生達と一緒にダンスをしていた友達でした。苦勞を乗り越えてやりたいことができるようになることは幸せなことだと彼らは教えてくれました。

在住外国人の実情と交流協会の活動

昨年の訪日外国人旅行者は13百万人を超え、政府が目標とする東京オリンピック/パラリンピックが開催される2020年までに20百万人の達成も現実味を帯びてきましたが、現に日本に居住する在住外国人の人数は日本全体では近年大きな変動はありません(下記I参照)。以下では在住外国人の実情と交流協会の主な支援活動について報告いたします。(広報部 Y)

I 2006年/2014年の在住外国人の人数動向

	2006年(A)	2014年(B)	(B)/(A)(%)
全国	2,084,919	2,086,603	100.08
東京	363,730	418,123	114.95
杉並区	10,253	11,325	110.46

*2006/2014年の比較で全国では人数が横ばいですが、東京/杉並区では10%強増加しており、外国人についても人口の都市集中傾向があります。尚、杉並区の人口(約55万人)に対する在住外国人の割合は約2.1%であります。

II 2006年/2014年の杉並区在住外国人の上位10カ国の国別人数動向

	2006年	2014年	(傾向)
①中国(台湾含む)	3,761	①中国 3,604	→
②韓国・朝鮮	3,021	②韓国・朝鮮 2,510	→
③米国	681	③ネパール 929	→
④フィリピン	546	④台湾 608	→
⑤英国	295	⑤米国 601	→
⑥ネパール	224	⑥ベトナム 568	→
⑦カナダ	199	⑦フィリピン 440	→
⑧ミャンマー	197	⑧英国 246	→
⑨タイ	146	⑨タイ 206	→
⑩フランス	105	⑩フランス 162	→

*特徴としては、全国統計では、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジルの順ですが、杉並区では、上表の通り中国、韓国・朝鮮、ネパール、台湾の順となっており、ブラジルが17位である一方で、全国統計では10位のネパールが3位を占めていることでもあります。

III 在住外国人が杉並区に居住する主な理由(2014年調査)

①留学	2,857
②永住者	2,583
③特別永住者	1,218
④人文知識/国際交流(通訳・講師を含む)	1,208
⑤家族として滞在	862
⑥日本人の配偶者等	855

*在住者数の多さから上記の内5項目は中国人または韓国・朝鮮人が最多数を占めていますが、「⑥家族として滞在」はネパール人が最も多い(331名)。これは一昨年阿佐ヶ谷駅近くに全国初のネパール人学校が開設されるなど、ネパール人が家族で住む環境整備が杉並区で進んでいる効果が大きいと考えられます。

IV 在住外国人への交流協会の主な支援活動

①ウェルカムパーティーの実施

例年5月に、初めて日本(杉並区)に来た外国人が地域で生活していくために必要なルールを地域住民などと共に交流しながら学ぶ機会として実施しています。

②外国人相談

『外国人サポートデスク』を週2回(毎週月・金)区役所の区政相談課窓口開設し、ボランティア相談員が3言語(英語・韓国語・中国語)で対応しています。尚、年1回(例年1月)には弁護士・行政書士などの専門家による外国人が抱える問題の無料専門家相談会も実施しています。

③日本語教室

区内で活動する3つのボランティアグループが交流協会内で日本語教室を毎週実施しています。

④語学ボランティアの登録・派遣

現在16言語300名超の語学ボランティア登録がされており、必要に応じて通訳・翻訳/講師派遣などを行っています。尚、2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの対応として、語学ボランティアの研修や活動範囲の充実・拡大も目指しています。

⑤その他

上記以外で外国(人)に関連した活動としては、例年3月に外国人による「日本語スピーチ大会」を開催しており、又、特定の国・地域の文化などを紹介する「海外文化セミナー」なども実施しています。



昨年のウェルカムパーティー

ドウイ レトノ ワーユンティヤスさん(インドネシア)「コンビニのフレンドリーネス」

「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」日本だけでなくインドネシアでも日本のレストランでは使います。でも日本のコンビニでアルバイトをして、笑顔の挨拶の理由がわかってきました。それは挨拶することだけでなく、お客さんとあわせ一緒に働いている同僚に気を使うことです。不自由な人がいれば、できるだけ手伝う。何かあったら必ず報告すること。コンビニのフレンドリーネス、それはお客さんや他の方と心をつかち合うための一つの方法と知り、もっと日本を好きにもっと日本を知りたいと思いました。

カナラ ハールアンボークさん(タイ)「未来のために」

私は高校3年生で18歳になります。友達に留学すると聞き母にそうだとお金の心配はなかったと言われました。でも私はあきらめず、ゲージでロータリーのしょうがく金を見つけました。タイではロータリーの子どもがもらえます。しょうがく金をもらうのはむずかしかったです。しかし私はここにいます。「せいしんいっとう なにごとかならざらん」今、一生懸命日本語と英語を勉強しています。将来、キャビンアテンダントとほんやくかになりたいです。たくさんお金ができれば私は父と母をカッコいい車でいちばんいいレストランにつれていきたいです。えいえんに父と母のめんどうをみたいです。(スピーチ原稿からの抜粋)